

芽室町ふるさと歴史館の活動について

名称 ふるさと歴史館／収蔵資料保管施設

所在地 芽室町美生2線38番地15

設置年度 歴史館：平成11年度
保管施設：平成24年度

面積 歴史館：797㎡
保管施設：92㎡

目的 芽室町の歴史や生活に関する資料を保存公開し、町民の教育・学習活動や芸術文化の振興に寄与することを目的に、芽室町の基幹産業である「農業」を主なテーマとし、昭和30～40年代頃まで使用されていた畜力農機具や各種生活用具、文書資料、考古資料等の収集、展示、保管を行う。

活動 歴史館はその設置目的を達成するため下記の事業を実施している。
(1)郷土資料の収集、保管、展示及び教育的活用に関すること。
(2)郷土資料の調査及び研究に関すること。
(3)郷土の歴史、文化、自然に係る講習会、研究会、観察会等の開催に関すること。
(4)その他歴史館の目的を達成するために必要な事業。

収蔵資料 歴史館に常設展示されている資料は623点、施設に併設された収蔵資料保管施設内には、かつて旧明正小学校内に保管していた418点の資料を保管している。
そのほかに、芽室町内に所在する埋蔵文化財包蔵地（遺跡）から出土した埋蔵文化財（土器、石器類）を保管している。

収集活動 歴史館に収蔵・展示する資料は、かつての町民会館の郷土資料室に展示されていた資料や町内の廃校に保管していた農機具類ほか、歴史館建設時に町民からの情報提供を受けて寄贈されたものが主体となっている。町では、毎年、広報誌において文化財に関する情報提供を呼び掛けているほか、町民からの資料寄贈に関する申し出を受けて、資料の来歴や保存状態、希少性などを考慮しながら郷土資料の収集・保管に関する取り組みを継続的に行っている。